



第38号

編集：発行所

一般社団法人鳥取県手をつなぐ育成会

鳥取市伏野1729-5

(県立福祉人材研修センター内)

電話 0857-59-6344

FAX 0857-59-6340

HPアドレス

<http://www.tori-iku.sakura.ne.jp>

第八回 ふれんず大会を終つて

ふれんず大会実行委員長

佐々木 崇

「なかよくみんなで一歩★輝く未来へ」をスローガンに、障がいのある本人が主役のふれんず大会を七月十二日に倉吉未来中心で行いました。いちばん星の会のメンバー十一名で四月から六回集まって意見を出し合い企画しました。

私は、初めて実行委員長の役割をもらいましたが、どうしたらいいか分かりませんでした。メンバーや支援者さんたちからアドバイスをもらってなんとかできたと思います。

大会当日は、多くの参加者がおり、ゆめステージで歌い、踊り、「エコー・とっとり太鼓」のメンバーの力強いパフォーマンスで楽しんでいただきました。午後の分科会も沢山の参加者で盛り上りました。参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

第八回 ふれんず大会

7月12日

第八回のふれんず大会鳥取大会は七月十二日、倉吉未来中心小ホールで、本人七十四名、支援者六十六名の参加のもとに開催された。

開会式は、県育成会の秋本会長と実行委員長の佐々木崇さんのあいさつに続き、来賓の県福祉保健部松田部長が、「生活や仕事などについて意見交換やレクレーションを通して仲間づくりを進められることは誠に意義深く、その成果を大いに期待しています。」とエールを送られた。

開会式の最後に、鳥取市の山本秀美さんが、自分の経験したつらい思いや、健常者へのお願い、そして、自分が努力していることを一生懸命訴えた。

大会の午前の部は、「ゆめステージ」で、第一部は「みんなで歌つて踊るタイム」で、妖怪体操や、AKB48の「会いたかった」などに合わせてみんなで楽しく歌い踊った。

第二部は、「エコー・とつとり太鼓」のみなさんの力強い演奏を楽しんだ後、希望者がステージに上り、太鼓の手ほどきを受け、合図のもとにバチをふるつて、初体験。

午後は三つの分科会に分け、第一分科会は「みんなで話そう」で、それが仕事や生活のことを話し合つた。

第二分科会は「みんなで描こう」で、曼陀羅のぬり絵に挑戦、第三分科会の「みんなでちょいスポ」では、フライングディスクなどの軽スポーツを楽しんだ。

なかよくみんなで一步 ★ 輝く未来へ

第一分科会

みんなで話そう

日々の生活の中で感じたことを話しあいました。主なものをあげてみますと、

一、施設で「怠けてる」とか「来るな」と言われ、親と相談して施設を変わった。

二、施設で入所者に「お金ちょうどいい」と言つてお金をせびられた。

三、店に行った時、店員さんから無視された。なかなか対応してもらえなかつた。差別されていると思つた。

四、すれちがうときに「きもい」と聞こえるように言われた。

など差別されている発言が多くありました。

これに対し、助言者の先生から「差別や虐待されていると思つたらまだまつていないで、親や先生

に相談しましよう」とアドバイスがありました。

進行係の青戸稔さんは「今日は、いろんな人の意見を聞くことができて、とても良かった。」と感想を述べていました。



みんなが真剣に



支援者 谷口法子さんの話



まんだらぬりえへの挑戦

第二分科会

みんなで描こう

二十六名の皆さんの中から、まんだらぬりえへの挑戦です。先生の指導に、真剣な顔。講師の山崎ちどり先生は、ふれんず大会は四年目になられるとの事、運営責任者の押本妙子さんは、「今年初めて実行委員になりました。司会たくさん練習しました。緊張しています。

第一回のときから関わってきました。最初は本当に手とり足とりだったのですが、自分達で運営できるようになり、成長したなと思います。

欲を言えば、他の人が何を考えているのか、空気が読めるようになります。

これまで、私は、この大会で、多くの人に喜んで貰うことが出来ました。これからも、この大会で、多くの人に喜んで貰うことが出来ます。

みんなでちよいスポ

倉吉市 上原 幸治くん
初めてしたので、難しかったけど楽しかった。

北栄町 山下 慎吾くん
はじめは少し緊張したけど、がんばってやりました。

意見発表

知的障がいの私と健常者について



鳥取市手をつなぐ育成会

山本 秀美

私は、とくべつしえん学校をそつぎようし、たきのうがたじぎょうしょにかよつて四年目です。まいにち、しょくどうのそうじやはこおりのしごとをいつしようけんめいがんばっています。

私は、こんなけいけんをしました。えきのかいだんをおりるのがこわく、ゆつくりとしかおりれなくて、うしろの人には、「おそい」といつて、しあなをされたのです。くやしくて、いえにかえつてからなきました。また、かいものときには、レジでお金をはらうのがむずかしく、じかんがかかつて、うしろにぎょうれがいします。

そんなけいけんがあつて健常者のかたに知的障がいについてしっていた。

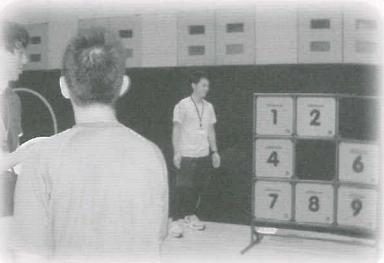
私は、レジでスマーズにはらえるようにおさつを出して、おつりをもらうようにしています。いえでは、けいさんドリルやとけいのドリルをして、べんきょうしています。人にめいわくをかけないようにしたいからです。

わたしは、こうしてじぶんなりにがんばっています。そのことをまわりの人びとにもわかつてもらいたいとおもいます。そして、やさしくさせえてもらいたいです。

私は、はじめてあつた人としゃべるのにがてです。でも、なれたらさえてもらいたいです。



ゆめステージ



第8回 ふれんず大会 鳥取大会 宣言

1. 私たちはより多くの障がい者の意見を聞き、その思いを理解し合える本人活動をします。
2. どんなときも挑戦することを忘れず、自分のことばかりではなく、仲間の立場に立った発言と行動をします。
3. 「働く場所」の確保だけではなく、それぞの職場で楽しく働き続けられるように働きかけます。
4. 親亡き後、一人になってもいろいろなサービスを利用し、地域で暮らせるようにします。
5. どんな場合でも障がい者の権利が大切に守られるよう、まず鳥取県の私たちが力を合わせて、情報発信していきます。



三交会に参加して

東部心身障害児（者）育成会
吉村 正紀

六月二十二日（日）水明荘にて約一〇〇名の参加者で三交会が開催されその内男性約二十名の参加で行われました。午前中は「あいサポートファイルについて」

実行委員の方より説明があり、

障がいのある方の乳幼児期

より生育歴や、状態、経

歴等成長して行く現在迄

の過程を継続して記録し

て行き「ファイル式」で

家庭で管理しておき、親

が介助できなくなつた時、

残つた家族の方へ伝わる

事が必要との事でした。

今年度各地区の相談員

の方に説明会を開催して

会員の皆様へ配布できる

よう計画して行く予定です。

鳥取県だけでなく全国的な流れとのことでした。

午後は参加型講演会「笑って元気に心の健康」というテーマで、シンガーソングライター講演師の方より「健康で一二〇才迄生きましょう」と、地元

の方言を取り入れながら会場を笑わせ

る歌入りのユーモアいっぱいの講演会

でした。これからは高齢化が進んで行

く中少しども多くの若い方の参加者を

願う所です。

大きな地震はいつどこで起こつても

おかしくないという危機感を持ち、お

話の内容を大いに参考にして、我が家

のものをもう一度点検しなくてはいけ

ないなと思いました。

第三部の参加型講演会として「笑つ

て元気に心の健康」ということで、地

元中部のシンガーソングライター石川

達之氏の講演がありました。

地元の方言をふんだんに使い、子育ての悩みや病気の奥様への複雑な思い、ご両親への感謝の気持ち、元救急隊員だったからこそ強く感じられた命の大切さなど、家族の写真を見せていただきながらのそのユーモアたっぷりな語りと歌は、心にとても響くものでした。

今後は、作成したサポートファイルを、教育現場などでの有効な資料として、どのくらい活用できるか、してもらうかが課題のようでした。

第二部の「いざという時の対応について」では、中部の湯梨浜消防署員の長田さんから大きな地震時の対応について、お話をいただきました。

大きな地震はいつどこで起こつてもおかしくないという危機感を持ち、お話を大いに参考にして、我が家

の内容を大いに参考にして、我が家

のものをもう一度点検しなくてはいけないなと思いました。

第三部の参加型講演会として「笑つて元気に心の健康」ということで、地

元中部のシンガーソングライター石川

樂しかった三交会

三朝町むつみ会 福田 優子

シンガーソングライター講演師の石川達之さんが、講演されるという

ことで楽しみで参加しました。

娘の真弓はダウン症で、この日は

私用があり作業は休みでしたので一緒に参加した。この会は、参加者が

多く、真弓は少し興奮ぎみで、皆様

からエネルギーを頂き、おもわず手

をあげてしまい、私はびっくりして

いました。

娘が保育園時代には、障がい者の

集りに参加していたが、集まりの不

満を感じていた事もあり、娘も大きくなり参加をしなくなっていた。

歌とお話の参加型講演会で話しながら

知り合いも来て居り、お互いの元

気を喜び、自分達の思いを話す事が出来て、ストレス発散になつた。

忙しい日々を過ごす人も都合がつければ参加出来ればと思う。これからも私も都合を付けて参加したい。



方言を交えながらの歌とお話

第49回 三交会



サポートファイルの説明

心に響いた講演

米子市手をつなぐ育成会 柏木 民江

今回は、午後から興味深い企画がされていて、楽しみな始まりとなりました。

第一部の「あいサポートファイルについて」では、その説明や活用の方法についての説明がありました。



災害時の対応についての話

二父会



災害時の対応についての話

知り合いも来て居り、お互いの元

気を喜び、自分達の思いを話す事が出来て、ストレス発散になつた。

忙しい日々を過ごす人も都合がつければ参加出来ればと思う。これからも私も都合を付けて参加したい。

あいサポートファイルつてなに

あいサポートファイル検討委員会

副委員長 大谷 喜博

「あいサポートファイルとつとり」は、鳥取県手をつなぐ育成会が鳥取県より委託を受け、二十五年度より三ヶ年計画で作成したファイルで、今年段階的に会員の皆様に、ファイルについて説明会や記入のお手伝いを行なっていきます。ファイルは説明会を通じて配布します。

ファイルは「あいサポートファイルとつとり」と「手をつなぐ」の二部構成になっています。

「あいサポートファイルとつとり」では、障がいのある人の成育歴やサポート、ケアの仕方等を、乳幼児期から青年期に至るまで継続して記録・整理していくファイル形式の記録ノートです。内容については、「プロフィールブック」家系図、生育歴、医療情報等本人や家族等の状況をまとめます。「支援ブック」支援に際して必要なコミュニケーションの取り方や日常生活の状況等をまとめます。『成長の記録』これまで生活の記録や将来の希望等をまとめます。以上の記録により相談機関、学校、福祉施設、医療機関、公的機関などで活用します。本人に関する

様々な情報、接し方、支援方法などに活用できます。「手をつなぐ」については、親亡き後の成年後見や相続、親の思いなどをまとめられます。

親が元気なうちに、わが子を段階的に託していく引継ぎ書です。

今後の日程につきましては、各地区の相談員の方に説明会を実施していく予定です。ファイルにつきましては、説明会参加時に配布します。

より多くの育成会会員の方の参加をお願いします。



鳥取県からのお知らせ

スポーツ庁の設置について

平成二十七年十月一日、文部科学省の外局として、スポーツ庁が設置されます。

従来文部科学省が取り組んで来たスポーツ選手の育成や、地域におけるスポーツの推進に加えて、国民生活における多面にわたるスポーツの役割を、より一層高めていくため、スポーツを通じた健康の保持、増進や地域社会の再生、国際的地位の向上など、多数の府省に関連する施策を総合的に推進していくこととしています。

あいサポート・アートインフォメーションセンターを開所しました

鳥取県では、昨年度第十四回全国障がい者芸術・文化祭とつとり大会（あいサポート・アートとつとりフェスタ）を開催し、障がい者芸術・文化活動の魅力を伝えました。鳥取県では、この大会を通じた取り組みを一過性のもとせず、今後も一層振興していくための情報発信拠点として倉吉市昭和町の琴櫻記念館前に「あいサポート・アートインフォメーションセンター」を設置しました。

事業内容

常設展示

障がい者の優れた芸術・文化作品を常設展示すると共に、定期的に県内巡回展などを行なう。

情報発信

情報収集とインターネットなどで発信

人材育成

創作活動の支援方法や著作権などに関する研修会を行う

相談支援

相談の受付けとアドバイス

普及啓発

美術や音楽などを体験できるワークショップの開催





地区ひろば

迫力満点のイルカショー

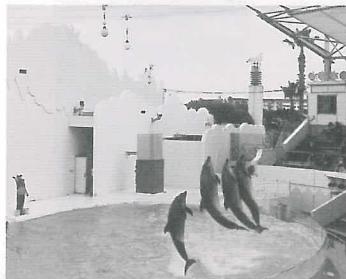
鳥取市手をつなぐ育成会

高垣 昌裕

東部地区育成会の合同レクリエーションで、須磨水族館見学に参加しました。きっかけは子どもと同じ学校の姫路出身の先輩から一緒に行こうと誘われたからです。

一緒に行く予定の妻が、急遽仕事で行けなくなり、私が代わりに参加することになりました。「男同士で仲良く行つて来たら」と言われ、軽く引き受けたものの、初参加で、訳もわからず、ただバスに乗つていただけでした。トイレの休憩の時だけは、父親として、出番があつたように感じています。トイレの数が少なくて長い行列になっていたのは、大変でした。

間見ること
変さを少し垣
間見ること
なできた貴重
な経験でした。
企画運営して
くださった役
員の方々には、
大変お世話にな
りました。



コックピットも体験

II 美保基地見学 II

境港市障がい児(者)育成会
石川 肇

西部地区のレクリエーションを三月一日境港市で開催しました。参加人数

は七十一人で、午前は航空自衛隊美保基地の見学、午後はステンシル教室を行いました。

車椅子の方よ
り説明を受け
ている頃より
雨が降り出し
車椅子の方は

一緒に行く予定の妻が、急遽仕事で行けなくなり、私が代わりに参加することになりました。「男同士で仲良く行つて来たら」と言われ、軽く引き受けたものの、初参加で、訳もわからず、ただバスに乗つていただけでした。トイレの休憩の時だけは、父親として、出番があつたように感じています。トイレの数が少なくて長い行列になっていたのは、大変でした。



コックピット内

昼食は、老人福祉センターに行き弁当を食べました。午後からは、ステンシル教室をしました。講師は和田陽子先生で、初めての方にも、分かりやすく丁寧に指導して頂き、立派な作品が出来、みんな喜んでいました。

ステンシル教室風景

輸送機はC1型で約三十人が座れる長椅子、また、コックピットは二人掛けでスペースは身動きがしづらい狭さでした。

障害者就業・生活支援センターくらよし

—ジョブコーチセンターを新設—

県の厚生事業団が運営するこの機関は、倉吉未来中心にほど近いところにある。鳥取、米子にも同じ機関があり、障がい者の一般就労に向けて、障がい者職業センター、ハローワークとの連携のもとに、相談・支援を行っている。

昨年一年間の相談件数は約四、六〇〇件で、現在の登録者数は三六〇人、そのうち約半数の人々が働いている。

福田主任は「時間はかかっても、本人の気持ちを汲み取っていくようにしていく」。「職場に定着するには、家族の理解と協力が何よりも重要です。」と話している。

今年四月にオープンした、職場定着支援センター（ジョブコーチセンター）も同じ施設内にあり、就労後二ヶ月から四ヶ月程度、職場に入り、一人で作業ができるよう支援を行っている。

障害者就業・生活支援センターくらよし

—ジョブコーチセンターを新設—

県の厚生事業団が運営するこの機関は、倉吉未来中心にほど近いところにある。鳥取、米子にも同じ機関があり、障がい者の一般就労に向けて、障がい者職業センター、ハローワークとの連携のもとに、相談・支援を行っている。

昨年一年間の相談件数は約四、六〇〇件で、現在の登録者数は三六〇人、そのうち約半数の人々が働いている。

福田主任は「時間はかかっても、本人の気持ちを汲み取っていくようにしていく」。「職場に定着するには、家族の理解と協力が何よりも重要です。」と話している。

今年四月にオープンした、職場定着支援センター（ジョブコーチセンター）も同じ施設内にあり、就労後二ヶ月から四ヶ月程度、職場に入り、一人で作業ができるよう支援を行っている。

C1型輸送機と内部

交流会&施設研修

倉吉市手をつなぐ育成会
椿 小百合

毎年お盆明けの八月十六日に実施している「施設利用者と在宅障がい者の交流会」。行き先は大人気のとつとり花回廊で、違う季節に行こうと、五月九日(土)総勢三十名で出掛けました。大山は望めなかつたものの過ごしやすい気候の中、ポピーや咲き始めたバラ等、色とりどりの花々を見ながら親睦を深めました。



花回廊でハートをあたたかく

三交会を終えて一息ついた七月十四日(火)、もみの木園を訪問、施設研修を行いました。始めに園の概要をご説明いただきました。利用者の高齢化で通院支援が増加し、専任の職員を配置されていることや、重度高齢者棟を建設予定であること、定期健康診断は勿



二十四時間対応のグループホーム(和おん)と、絵画等制作活動の様子、B型事業所での作業の様子を拝見し、短時間で慌ただしかつたものの、充実感のある研修を終え、帰路に着きました。

出雲に行きました

米子市手をつなぐ育成会
永井 敬子

米子のレクリエーション事業で六月七日(日)総勢三十七名で出雲方面へ日帰り旅行に行つて来ました。すっかり綺麗にそして賑やかになつた神門通りを過ぎ、遷宮を終えたばかりの出雲大社へ。ガイドさんに説明をしていただきながら参拝。いろんな意味での良縁を祈願し、皆さんとても厳かな気持ちになつたのじやないでしょうか。

天候にも恵まれ久しぶりに出会う仲間たちと賑やかで楽しいミニ旅行ができました。



その後島根ワイナリーで買い物や試飲をして、すっかりほろ酔い気分になつた人もいたのですが・・・！ 天候にも恵まれ久しぶりに出会う仲間たちと賑やかで楽しいミニ旅行ができました。

第二回全国大会(名古屋大会)の参加依頼があり終了した。

報告。

支決算、専門委員会設置運営規定の一部改正案が提案され承認する。二〇一五年度事業計画・収支予算を承認した後、障害者総合支援法施行後三年の見直し等について

久保会長のあいさつに続き議事に、二〇一四年度の事業報告・収支決算、専門委員会設置運営規定の一部改正案が提案され承認する。二〇一五年度事業計画・収支予算を承認した後、障害者総合支援法施行後三年の見直し等について

全国手をつなぐ育成会連合会総会に出席して

鳥取県手をつなぐ育成会
会長 秋本 和彦

手をつなぐ育成会 中国・四国大会

平成27年
11月28日～29日
香川県高松市

さそいあって
参加しましょう





ユーカリ 東部

イオン鳥取店西入口を入るとすぐ左側に見えてきます。明るくて、ちょっと立ち寄ってみたくなるようなお店です。地域のイベントにも積極的に参加しています。

レインボウ 東部

鳥取市役所駅南庁舎1階にある「レインボウ」は、いつでも店員さんが「いらっしゃいませ」と優しい笑顔で迎えてくれる温かい雰囲気のお店です。奥には喫茶もありますので、お買い物がてらお茶でもいかがでしょうか。



浜っ子

境港駅から鬼太郎ロードを入るとすぐ浜っ子があります。お店の中には、陶器、白州綿、ケーキ、などなど30ヶ所の事業所の作品が並んでいます。又作業所の絵なども展示されています。今年14周年になります。開店は10時から16時、休日は木曜日です。鬼太郎ロードに来られましたら浜っ子にお立ち寄りください。見る価値ありますよ。



西部

おおぞら

平日の10時から15時、米子市役所の一角で、各作業所の手芸品や手作りの食品を中心に取り扱っているお店です。障がいのある本人がニッコリ笑顔で店番をしています。市役所にご用の方はぜひ寄ってみてください。



西部

ふらっぷ21

全県下の障がい者事業所等の商品を常設販売しています。週3日の出張販売と、イベント出店で売上アップに奮闘中。倉吉市のゆるキャラ・くらすけくんをパッケージにした、店オリジナルの商品を出す等、意欲的に運営しています。



中部

祝

ご受賞
おめでとうございます

育成会関係の各大会で、次の方々が
表彰・感謝状を受けられました。
(県育成会推薦分 敬称略・順不同。所属は受賞時)

第二回全国大会(1名)

表彰 山根 淳 (西部育成会)

平成二十七年度

県民総合福祉大会(県育成会推薦分)

鳥取県知事表彰(1名)

表彰 山中 要 (倉吉市育成会)

鳥取県社会福祉協議会長表彰(5名)

表彰 洪嶋 悅子 (倉吉市育成会)
表彰 上原 朱実 (倉吉市育成会)
表彰 岩佐 美穂 (境港市育成会)
表彰 矢倉 裕子 (境港市育成会)
表彰 佐藤日出子 (境港市育成会)

鳥取県手つなぐ育成会会長表彰(11名)

表彰 今西寿美子 (鳥取市育成会)
表彰 来海 英明 (西部育成会)
表彰 手島美奈子 (倉吉市育成会)
表彰 吉村 景子 (境港市育成会)
表彰 田口 徳子 (大山町育成会)
表彰 西村 寿美 (日南町育成会)
表彰 川上由紀美 (鹿野第一かちみ園)
感謝 土尾 進 (鹿野第二かちみ園)
感謝 宮川 友利 (鹿野第一かちみ園)
感謝 章子 (鹿野第一かちみ園)

編集後記

原稿を依頼した皆さんのご協力で、スマートに編集することができました。ありがとうございました。それぞれの地域でいろいろな活動をされていることに、改めて感心しています。親子での楽しい行事など、写真を撮つておいていただき、記事としてお送りいただけますと幸いです。

(来海英明)

理 事 犬野 実
(鳥取県社会福祉協議会事務局次長)
(任期は、前任者の残任期間)

常務理事 前田 恵
(鳥取県社会福祉協議会事務局次長)
(任期は、前任者の残任期間)

第15回全国障害者スポーツ大会 「紀の国わかやま大会」出場者決定!!

開催期日 平成27年10月24~26日

知的障がい者の部

陸 上	谷 雅也	(株)JR西日本米子メンテック
門脇 一也	琴の浦高等特別支援学校	琴の浦高等特別支援学校
門脇 翔雅	県立米子養護学校	県立米子養護学校
渡 えり	琴の浦高等特別支援学校	琴の浦高等特別支援学校
下地 真奈	琴の浦高等特別支援学校	琴の浦高等特別支援学校
山根 瑞輝	敬仁会館	敬仁会館
石田		
水 泳 球		
フライングディスク		
平田 一真		
ボウリング	下村 伸一	

